

立命館 言語文化研究

29巻1号

目次

2016年度国際言語文化研究所連続講座「越境する民——変動する世界」

- 企画趣旨……………高橋秀寿（2）
- 第1回「マイノリティを語る——イタリアとフランスのいま」**
- 語りかける主体とわれわれ……………土肥秀行（3）
- 回帰する移民の歴史——文学作品が描くイタリアと移民——……………栗原俊秀（7）
- フランスで「移民」が／について書くということ
——マグレブ移民をめぐる文学……………石川清子（15）
- 移民のための文学コンクール エクセトラ賞……………山根美奈（31）
- 可視性の転覆——アルゼンチンにおける出自と政治……………石田智恵（43）
- 第2回「フクシマ後の移動——政治思想史の観点から」**
- フクシマ後の移動——政治思想史の観点から……………宇野重規（59）
- 政治思想の「空間論的転回」
土地・空間・場所をめぐる震災後の政治学的課題を理解するために……………犬塚 元（67）
- 第3回「難民・移民・アイデンティティ——ドイツの経験」**
- ドイツにおける他者の記憶と権利——序文に代えて……………高橋秀寿（85）
- 難民・移民・アイデンティティ＝ドイツの経験……………梶村太郎（89）
- ドイツ在住トルコ系移民の社会的統合に向けて
——ドイツ社会とトルコ系移民の関係変化——……………石川真作（105）
- ドイツにおける難民・移民問題の諸相
——連続講座「越境する民——変動する世界」梶村・石川報告へのコメント 佐々木淳希（115）
- 第4回「戦後日本における越境者と出入国管理体制」**
- 「外国人」を作り出す：占領期日本への移住と入国管理体制……………朴 沙羅（117）
- 戦後日本の再編と外国人登録法の指紋押捺……………高野麻子（127）
- 戦後期における出入国管理体制の成立と「非移民国」日本……………南川文里（137）

個別論文

L'exposition sur les usages pacifiques de l'énergie atomique (1955-1957)

—— L'exemple de Tokyo et du quotidien *Yomiuri Shinbun* (1955) —— ··Tino BRUNO (145)

非ルクセンブルク人がルクセンブルク語創出に及ぼした影響について…………… 田原憲和 (171)